

150のHistory

1920(大正9)年～1924(大正13)年

大正時代の思い出 創立110周年記念史より

「當麻小学校創立110周年史」には、大正時代の思い出を綴ったページがあります。紐解くと当時の小学生の暮らしぶりが伝わってきます。

服装

大正時代の最後のほうに、服を着る子どもがちらほら出てきた。多くが着物を着用していた。晴れている日は草履で、雨のときは下駄を履いていた。

運動場

運動場は1周80mぐらい。遊ぶときは裸足になっていた。テニスや野球のほかに、兵隊ごっこや陣取り合戦などで遊んでいた。

学校行事

5年生の遠足で吉野山に出掛けた。修学旅行で京都と大津に行った年もあれば、和歌山と大阪に行った年もあった。

放課後

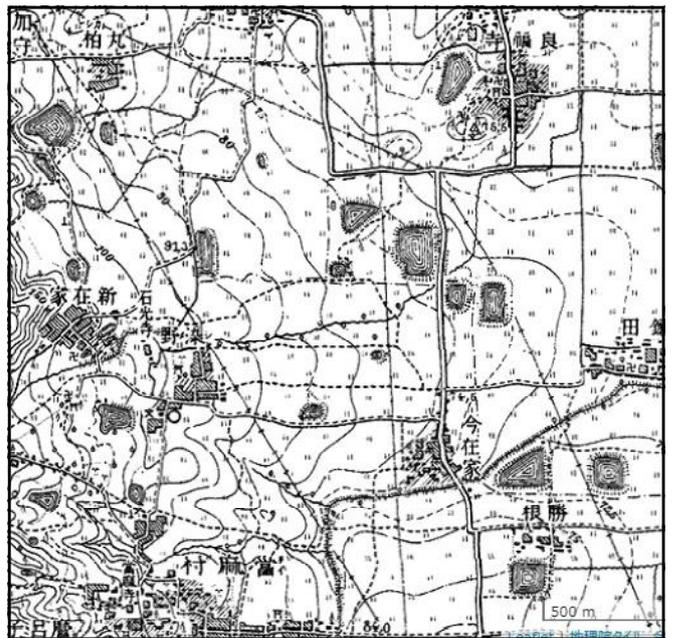
学校から帰ると、田畑の手伝いや子守などをしていた。放課後、家で勉強したのは、クラスで2～3人程度だった。

当時の児童数

1921年	大正10年	3 6 1 人
1922年	大正11年	3 4 3 人
1923年	大正12年	3 3 6 人
1924年	大正13年	3 4 0 人
1925年	大正14年	3 3 8 人

古地図より

今昔マップというサイトにこの時代の地図が掲載されています。1908年の測量された地図です。



シリーズ

そのころ社会で起きていた ～ 関東大震災 ～

1923年9月1日、関東地方を大きな地震がおそいました。被害を受けた7府県の被災者は約340万人。死者・行方不明者は10万5000人あまりでした。東京では、地震のときにおきた火災が3日間も続きました。

この地震での関東での震度は「6」。大阪の震度は「4」、奈良県橿原市では「3」であったという記録が残っています。